

タワマンと再開発

住まい・まちづくりを考える

日時

2026年8月30日(日)

大山のタワマン再開発視察 10:30～11:50

【案内・説明】田原佳幸氏(大山問題を考える会)

【集合】10:30 大山駅南口

大山ハッピーロード商店街から、建設済みのタワマン、建設予定のタワマン周辺などを視察します。

セミナー 13:30～16:20

【受付】13:00

会場

板橋区立グリーンホール・5階 504会議室

東京都板橋区栄町36-1

東武東上線「大山」駅 北口から徒歩約5分

都営三田線「板橋区役所前」駅A3出口から徒歩約5分

●オンライン参加も可能

(事前にお申し込みの上、参加費をお振り込みください)

オンライン (Zoom)

ミーティング ID: 886 5327 5363 パスコード: 519839

*zoom参加時は、表示名をお申し込みの氏名にさせていただきますよう、お願いします。



開催趣旨

現在、日本における住まい・まちづくりは多くの矛盾と持続可能性の課題を抱えている。いわゆる「地方消滅」や住宅過剰社会が語られる一方、都心部や地方中心地にはタワーマンション（タワマン）が建てられ続け、それとも不可分な大規模再開発が進行している。果たして、このような住まい・まちづくりは、持続可能なのだろうか。

1990年代、バブルが崩壊した。バブルによって都内の住民の中には住まいを追われる者があり、また工場の海外進出によってかつて工場だった地域には空白地帯が生まれていた。2000年代に入ると、都市再生特別措置法に代表されるように、都市再開発・建物の高層化を推進する法制度、そしてディベロッパーなど業界と自民党政権が結びついて、タワマンが乱立する時代が始まったのである。このような資本の論理による再開発は、既存の市街地に居住していた低所得者層を追い出して土地の高級化を目指していくジェントリフィケーションとも呼ばれる。人々の居住の権利を奪い、アフォーダビリティを悪化させながら、生活者を重視したまちづくりの持続可能性を危ういものとしている。

そこで2026年サマーセミナーについては、再開発と住まい・まちづくりをテーマとする。本セミナーを通じて、現在の再開発について理解するとともに、タワーマンションの様々な問題、マンション管理そのものの課題、再開発反対に立ち上がる住民運動などを念頭に置きながら、その実態解明・解決を目指す研究者や実践家に対して、住宅会議へのコミットを呼び掛け、もって住宅問題・持続可能なまちづくりに関する世論提起・政策的改善を行いたい。

プログラム

13:00 受付開始

13:30 開会

開会あいさつ

基調講演 「超高層マンションの歴史と展望」

……村島正彦(有限会社studio harappa / 都市計画コンサルタント)

講演1 「タワマン再開発とまちづくり運動2.0」

……岩見良太郎(埼玉大学名誉教授)

講演2 「再開発と住まいの権利」

……中島明子(和洋女子大学名誉教授)

*敬称略。タイトルは仮題、変更の可能性があります。

パネルDC+全体討論

閉会あいさつ

16:30 閉会

主催: 日本住宅会議

申込締切: 8月26日(水)

1次締切: 8月22日(土) *資料等の準備の都合上、なるべくお早めにお申し込みください。

申込方法: GoogleForms (下記リンクまたはQRコード)から申し込んでください。

<https://forms.gle/2p5ZcRrarVYTo21R9>

参加費:

午前(大山のタワマン視察): (会員・非会員にかかわらず)一律1000円

午後(セミナー): 会員1500円、非会員2000円(オンライン参加も同額です)

*メッセージ欄に「サマーセミナー2026オンライン参加費」とお書きいただけると助かります。
また、イベントの成功を支えるカンパも大歓迎です。

ゆうちょ銀行 代々木店 総合口座 11330-06660501 名義: 日本住宅会議

他銀行から振り込む場合: 支店名 一三八(いちさんはち)店 普通口座 0666050

日本住宅会議事務局

メール hup@nifty.com FAX 03-6276-7154

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷3-20-1 住宅・都市問題研究所

詳細について変更になる場合があります。

会場等、サマーセミナーに関する未定の事項や変更事項は、日本住宅会議のHPに掲載しますので、ご確認いただければ幸いです。